
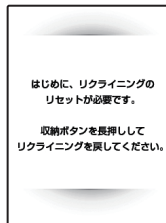


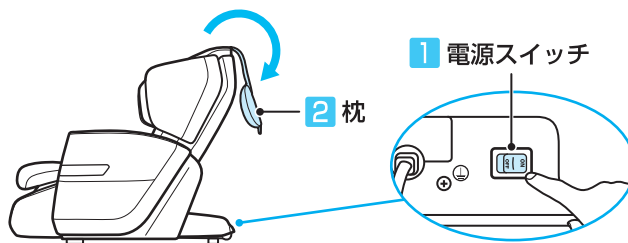
AS-R900 カンタン操作ガイド

1 本体後側の下部にある電源スイッチを「ON」にし、リモコンの **入/切** を押す。

- 背もたれ部が倒れたり、脚部が上がっている場合、右の画面になりマッサージを開始できないことがあります。収納  を長押しして、収納位置に戻してください。



2 枕を後に回して、座る。



3 背部と脚部をお好みの位置に合わせる。

4 十字キーで「コース」を選択し、**OK** を押す。

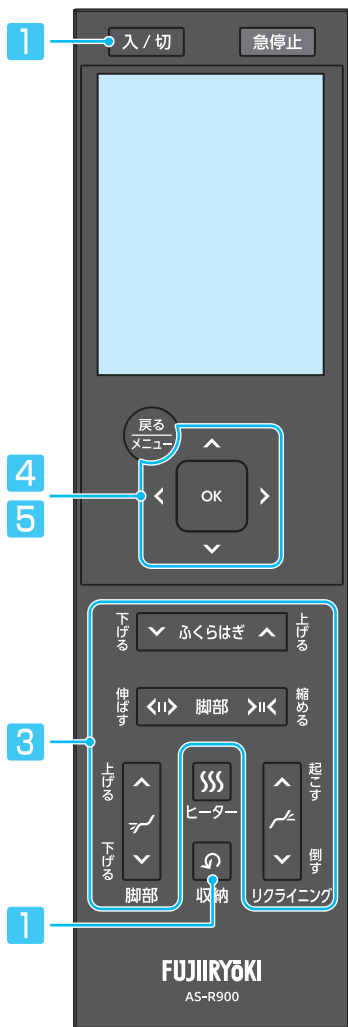
5 十字キーでお好みのコースを選択し、**OK** を押す。

- 5種類の全身コースと5種類の部位コースから選択できます。

6 肩位置と体形の自動検出が開始する。

- 頭を背もたれ部につけるようにもたれてください。
- 自動検出が終わると画面が移り、マッサージを開始します。
- 脚部が完全に下がっているときにコースを開始すると、一定の角度まで脚部が上がります。

7 マッサージ中のコースが液晶画面に表示される。



4 **メインメニュー**

クイック コース
もみ技 設定

7分間で全身をほぐす
時短スキリコースです

「コース」を選択します。

5 **コースメニュー**

全身 部位

★ プレミアムケア
疲労回復
リフレッシュ
やすらぎ
ストレッチ

全身をくまなくほぐす
マッサージコースです

お好みのコースを選択します。

6 **肩位置設定**

肩位置自動検出中

OKで自動検出をスキップ
手動選択に移動します

肩位置を自動検出します。

体形検知

しっかりともたれてください

背筋ライン検出中

OKで自動検出をスキップ
手動選択に移動します

体形検知が完了したら
マッサージ開始です。

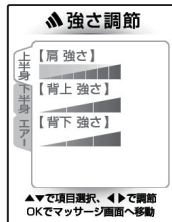
※自動コース中の細かな調節は裏面をご覧ください

自動コース動作中の調節



各部位の強さを調節したいとき

- ① 十字キーで「強さ調節」を選択し、**OK**を押す。
- ② 十字キーで設定を変更したい項目を選択し、お好みの強さを選択する。**OK**を押すとマッサージ画面に戻る。



肩位置調節をやりなおしたいとき

- ① マッサージ中に **戻るメニュー** を押すと、メインメニューが表示される。
- ② 十字キーで「肩位置設定」を選択し、**OK**を押す。
- ③ 調節が完了すると、マッサージ画面に戻る。

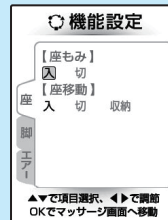


※ マッサージ中は体形検知を選択できず、体形の自動検出をやり直すことができません。マッサージを終了してから行ってください。

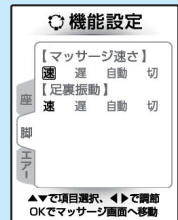
部位ごとの動作やオプションの設定

- ① 十字キーで「機能設定」や「オプション」を選択し、**OK**を押す。
- ② 十字キーで設定を変更したい項目を選択し、お好みの動作を選択する。**OK**を押すとマッサージ画面に戻る。

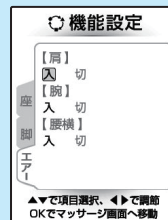
機能設定：座部



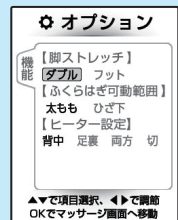
機能設定：脚部



機能設定：エアール



オプション



選択しているコースによって、設定できない項目があります。詳細は取扱説明書をご参照ください。

ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

⚠ 警告

- (1) 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- (2) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- (3) アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- (4) 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- (5) マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- (6) 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- (7) 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- (8) 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・プレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- (9) 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓[そく(塞)]栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- (10) 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師に相談する。(詳しくは取扱説明書を参照)
- (11) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (12) お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (13) リクライニングするときは、必ず周囲(本体の後部、前部、側部、下部など)に人やペット、物が無いことを確認する。
- (14) ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所長時間触れるような使い方をしない。
- (15) 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。